

□ 要請番号 (JL56016B01)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ベナン	G236 家政・生活改善		個別	交替 2代目	2年	・ 2017/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

労働・公職・社会問題省

2) 配属機関名 (日本語)

クルエカメ福祉センター

3) 任地 (クッフォ県クルエカメ市) JICA事務所の所在地 (コトヌー)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車 で 約 4.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

同省は、全国約80か所に福祉センターを配置し、地域の社会的弱者に対する支援を行っている。モノ・クッフォ県に位置する同センターは1985年に設立、日本でいう市役所の福祉課の役割を担っている。具体的には、各種補助金の窓口業務、カウンセリング業務、障害者の生活支援、女性グループ支援、社会医療事業(医薬品購入補助等)、孤児などの児童支援(学費支援)を実施している。センター敷地内には、洋裁アトリエと美容室アトリエが設置されており、女子生徒(13～18歳 16名)を対象に研修を行っている。年間予算は約20万円。他外国からの援助は無い。同任地で感染症・エイズ対策JV1名が活動中。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同センターは、地域住民の抱える問題に対応するため、相談業務及び諸手続きにかかる窓口業務を行っている。センター利用者数は月平均300名。業務担当スタッフは3名のみで、慢性的な人員と資金不足を抱えており、センター外となる地域住民の現状把握や支援が行き届いていない。同市を含むクッフォ県は「日陰地域」と呼ばれる地域で、特に、女子の早婚、多産による貧困家庭の事情から学校を中退せざるを得ない児童・生徒が多い。こうした女子を対象に、センター内のアトリエで手に職を付けさせる活動を行っている。同センターの活性化とともに、地域内の社会的弱者を支援する啓発活動、生活向上支援を目標に初代JVが活動中であり、継続した活動を期待され後任要請がなされた。高い専門性は必要としないが、住民とのコミュニケーションを図りながらの現場定住型の活動が求められている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先スタッフや地元のボランティアと連携し、以下の活動を行う。

1. 洋裁アトリエ授業への協力、洋裁講師への技術的助言、生徒への指導補佐等。
2. 業務効率化のための書類整理、作成補助(パソコンを利用した書類作成指導等)。
3. 地域内の社会的弱者(女性、子供、障害者、高齢者等)に対する啓発活動(センター利用促進、衛生・栄養改善)の企画・実施。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

センター内執務室、足踏みミシン3台

4) 配属先同僚及び活動対象者

センター長(女性、40代)
スタッフ(男・女性、30代 各1名)
洋裁指導員(女性、30代)
美容室指導員(女性、30代)

地域住民

5) 活動使用言語

フランス語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（ ） 備考：

任地での乗物利用の必要性

自転車

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（25～35℃位）

[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（不安定）

【特記事項】

活動上の交通手段は自転車のみに限られるため、その範囲で活動を行う。